



# 教育センターだより

平成29年5月10日 文責 遠山 榮子

## 教育センター研究員委嘱状交付式 第1回研究員会・富士山学習研究会

去る4月26日(水)、満開の桜のもと、中央公民館視聴覚室において平成29年度教育センター研究員委嘱状交付式が行われ、町内小中学校11校から選出された研究員一人ひとりに、梶原正孝教育長より委嘱状が交付されました。教育長から、教育センターの役割とともに、「近年、『学びの環境』ということが話題にされるが、物理的・精神的環境、家庭・地域・学校環境は、学び手の意欲関心態度、学習の成果にまで影響を及ぼす。教え型学習から『主体的、対話的学習』へ変化しているこの時代、『学びの環境づくり』に、教育に携わる者の責任は大きい。町の『学びの環境づくり』に研究員の力を！」という旨のお話がありました。町の教育大綱基本理念にある「町民が生涯を通じて『町民でよかった』と思える『学びの環境』を整える…」をも念頭に「鳥の眼」を忘れず豊かに担っていきたいと思います。



交付式後、第1回研究員会(富士山学習研究会)が行われ、委員長に西浜小の藤巻桂吾先生、副委員長に小立小の高尾久美子先生、船津小の三浦史帆先生が承認され、3名を中心に活動していくことになりました。協議では、藤巻先生より昨年度の研究経過が、センター所長より、今年度の方向性が提案され確認されました。また、佐藤望先生から富士山科学研究所の学習プログラムの紹介がありました。



6月13日(火)の第2回研究員会では、新センタープログラムに向けた臨地研修、富士山学習に関する授業、アンケートについて等の内容で研究が進められる予定です。~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

**\*研究テーマ** 世界文化遺産である「富士山」  
を児童生徒に伝えていくための授業づくり



### \*研究活動の柱

- ①全校共通して行える授業の提案と公開授業の実施
- ②富士山学習年間計画の実施と見直し
- ③専門機関との連携による出前授業の実施
- ④研究員の研修の推進

\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*~\*

## 支援員対象研修会

5月8日(月)中央公民館に於いて、ふじざくら支援学校の菊池恵先生を講師に、特別支援教育支援員という仕事について、支援員対象研修会を行いました。子どもとの関わり方、こんなときは…、個人情報扱い、ペアで疑似体験、情報交換などをし、学び合いました。教育長からも、挨拶の中で、支援員の役割についてお話をいただきました。予定時間をオーバーしての研修会でしたが、その子が自分らしく生き、自立していく支援を実践的に理解できたように思います。お疲れ様でした。

